

外出時は

反射材

外出するときは、明るい目立つ色の服を着用し、反射材を付けましょう。

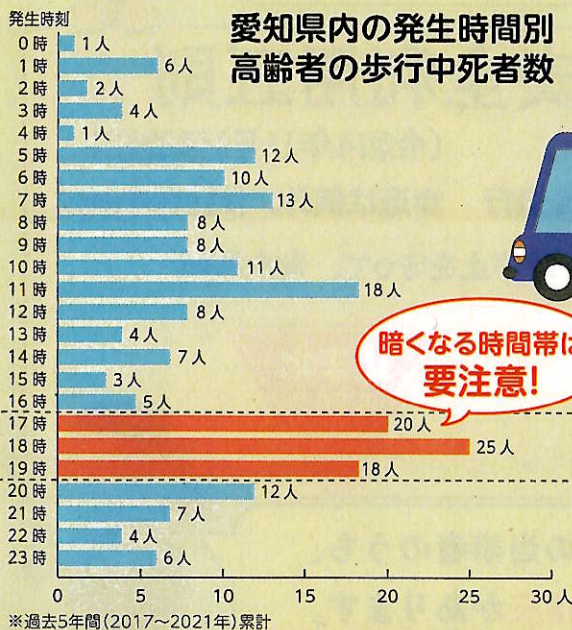


歩行者・自転車は
**夕暮れ時や
夜間に**
注意!



身を守るのは **安全確認** と **反射材**

高齢者(65歳以上)の歩行中死者の多くが夕暮れ時と夜間に交通事故に遭っています。



暗くなる時間帯は
要注意!

夜間ドライバーから歩行者が見える距離



ヘッドライト 下向き	黒っぽい服装 約26m	明るい服装 約38m	反射材着用 57m以上
---------------	----------------	---------------	----------------

この結果はJPマークの付いた製品によるもので、面積2.5㎡かつ反射性能117mcd/lux以上の反射材を使用

反射材は交通事故防止に有効です。

車のライトがついていても、ドライバーから歩行者が見えているとは限りません。道路横断時の安全確認の徹底に加えて、反射材を靴のかかとや杖、歩行補助車等に付け、自分の存在をドライバーにアピールしましょう。

愛知県警察からのお知らせ

○ 歩行者の方へ

横断歩道渡り方 合言葉

あ 合図して

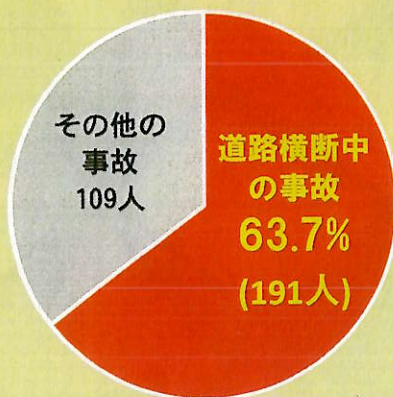
歩行者の交通死亡事故の多くが**道路横断中に発生!**
斜め横断や、車の直前・直後横断はやめましょう!!
面倒でも**横断歩道を利用しましょう!!!**



手をあげたり、顔を向ける
などして、横断する意思を
明確に伝えましょう。



歩行者の事故類型別死者数
(平成29年～令和3年 総数300人)



い 幾度も確認



安全確認は何度も。
車が停まっても、
十分安全を確認して
から横断しましょう。

横断中も周りに気を
付けて横断しましょう。



ち 注意しながら

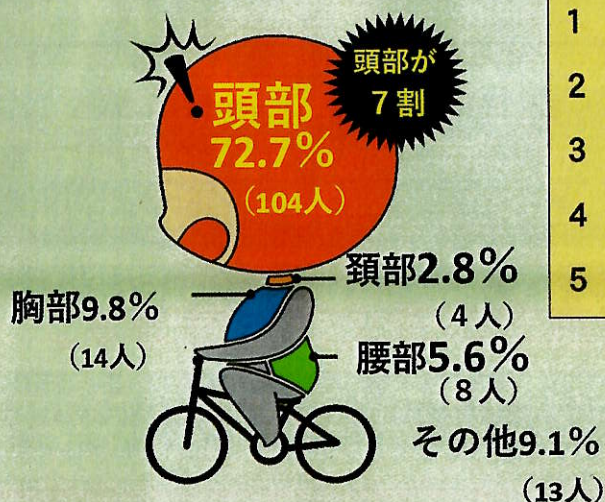
「あ い ち の 心」で渡りましょう

○ 自転車利用者の方へ

自転車事故による死者の**7割が頭のケガ**によるものです。
ヘルメットを着用しましょう!
ヘルメットがあなたの命を守ります!!



自転車死者の負傷主部位構成率
(平成29年～令和3年 総数143人)



自転車安全利用五則

(令和4年11月1日改正)

- 1 車道が原則、左側を通行 歩道は例外、歩行者を優先
- 2 交差点では信号と一時停止を守って、安全確認
- 3 夜間はライトを点灯
- 4 飲酒運転は禁止
- 5 ヘルメットを着用



自転車事故の当事者のうち、
7割に法令違反があります。
交通ルールを守りましょう!

